

開催要綱

1 大会趣旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、福祉・介護の領域に大きな衝撃と混乱、そして様々な課題を投げかけることになりました。福祉・介護情報についても、防災情報システムや携帯電話などの情報基盤の問題や、マスメディアにおける災害情報の課題などが顕在化しました。一方、インターネットやソーシャル・メディアの中では様々な形で支援コミュニティが立ち上がり、阪神淡路大震災では見られなかった新しいスタイルの支援活動が行われました。

未曾有の混乱の中、復旧に向けた取り組みが開始され、各地域の実態把握、安否確認や避難・救助活動、そして避難所における要支援者のニーズ把握や支援体制の確立、他地域への避難や外部ボランティアの受付と調整作業、そして被災住民の生活再建への支援等々において、様々な福祉・介護情報が行き交い、活用されました。

東北、特に岩手は、震災前から過疎化・高齢化が進展しており、福祉や医療分野において様々な課題を抱えていました。これに震災の影響が加わり、問題がより重篤化・重複化している面もあります。また、発災からある程度の時間を経て、新たな課題が顕在化する場合があります。こうした課題を解決するためには、新たなコミュニティやネットワークを構築するイノベーションも必要となってきます。

本学会では、2011年度第12回研究大会において、「3.11何が起こったのか～情報の混乱と活用を検証する～」を大会テーマとし、様々な視点から検証をいたしました。本大会では、このテーマを引き継ぎ、被災地である岩手において、発災後1年以上を経るなかで把握された事実などをもとに、復興に向けたさらなる検証を深めることといたしました。

本大会が、震災は明らかにした福祉介護の情報化に関する課題を検証するきっかけとなり、復興に多少なりとも資することができれば幸いです。関係者や関心を持つ多くの方々の積極的な参加を期待いたします。

2 テーマ

「3.11における福祉・介護情報の混乱と活用―復興に向けて検証する」

3 主催

日本福祉介護情報学会

4 開催校

岩手県立大学

5 日時

2012年11月11日(日) 10時00分～17時00分

6 会場

いわて県民情報交流センター(アイーナ)

午前 7階 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室1・2

午後 8階 研修室812

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

アイーナ管理事務室 TEL:019(606)1717 E-mail:info@aiina.jp

URL: <http://www.aiina.jp/>

《 プ ロ グ ラ ム 》

9：30～	受付開始	(アイーナ7階岩手県立大学アイーナキャンパス)
10：00～12：00 学習室1・2)	自由研究発表	(アイーナ7階岩手県立大学アイーナキャンパス)
12：00～12：40	昼食	
12：40～13：10	学会総会	(アイーナ8階研修室812)
13：10～13：20	休憩	
13：20～13：30	開会挨拶	(日本福祉介護情報学会代表理事 高橋 紘士氏)
13：30～17：00	シンポジウム	(アイーナ8階研修室812)

※途中休憩あり

テーマ「3.11における福祉・介護情報の混乱と活用—復興に向けて検証する」

・地域福祉と障がい福祉復興支援の立場から

岩手県社会福祉協議会いわて障がい福祉復興支援センター所長
小田原照雄氏

・復興における生活支援の立場から

岩手県復興局生活再建課主事 内藤和宏氏

・災害ボランティアコーディネートにおいて

岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部参事兼部長 根田秋雄氏

・社会福祉士会の支援において

岩手県社会福祉士会事務局長・
社会福祉法人岩手和敬会青和敬荘施設長 佐々木裕彦氏

・自閉症支援において

岩手県自閉症協会副会長・
指定相談支援事業所サポートにじ管理者兼相談支援専門員 小川博敬氏

・被災地における社会福祉協議会の立場から

釜石市社会福祉協議会地域福祉係係長
兼生活ご安心センター副センター長
菊池 亮氏

・被災地における高齢者グループホーム・小規模多機能施設運営の立場から

コンフォートライフ合同会社
グループホーム・小規模多機能ホームやかた管理者(代表社員) 松田宇善氏

・被災地における仮設住宅団地サポートセンター運営の立場から

社会福祉法人愛恵会
鵜住居地区サポートセンターライフサポートアドバイザー・所長 石田正子氏
(コーディネーター) 学会理事 小川晃子
(コメンテーター) 学会代表理事 高橋 紘士・学会副代表理事 森本 佳樹

17：00～ 次回研究大会について

17：30～ 懇親会(濱野井マリオス店)

自由研究発表日程

自由研究発表 A会場（学習室1）

1. 藤女子大学 人間生活学部 小沼 春日 10:00～
地域包括ケアの実現に向けた生活圏域単位での社会資源情報の可視化に関する調査研究
【その1】生活圏域単位での社会資源情報の収集及び活用に関する実態調査
 2. 北翔大学 人間福祉学部 林 恭裕 10:30～
地域包括ケアの実現に向けた生活圏域単位での社会資源情報の可視化に関する調査研究
【その2】生活圏域単位での社会資源情報の収集及び活用に関する事例調査
 3. 東京福祉大学 大学院 北舘 一弥 11:00～
特別養護老人ホームから要援護者に対する情報公開の実態調査
～ウェブサイトによる情報公開の必要性～
 4. 駿河台大学 平野 貴大 11:30～
福祉分野における情報化に関する歴史的研究-1
-

自由研究発表 B会場（学習室2）

1. 岩手県立大学 大学院 青澤 希 10:00～
住民支え合いマップへの取り組みがもたらす地域ネットワークの変容
— I 県H町におけるケーススタディから考察する
2. 岩手県立大学 大学院 熊谷 雅順 10:30～
介護支援専門員の資質が事業所経営に及ぼす影響
— 岩手県内における調査をもとにして—
3. 東北大学 大学院 佐藤 美喜子 11:00～
A市仮設住宅団地における高齢者見守りマネジメントシステムの検証（中間報告）
4. 岩手県立大学 社会福祉学部 小川 晃子 11:30～
被災地におけるICT（情報通信技術）を活用した生活支援型コミュニティづくり
— 鶴住居での取り組みを事例として